

# 第2回消費者意識調査報告



# 調査概要



18歳・19歳の消費者



民法の成年年齢引下げに対する意識調査



ウェブアンケート方式

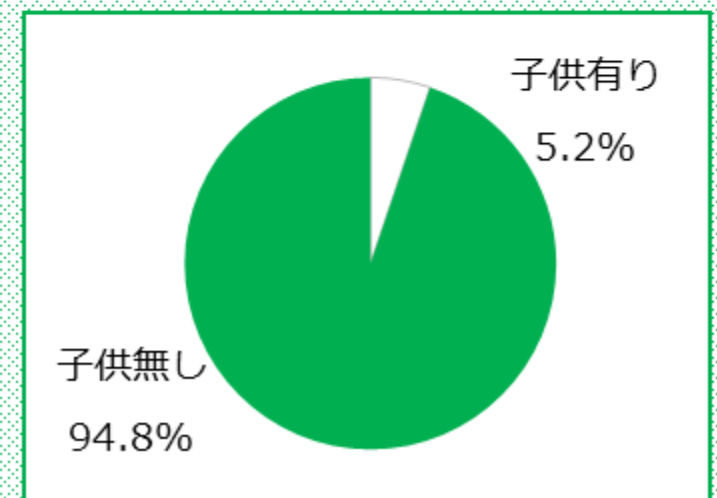
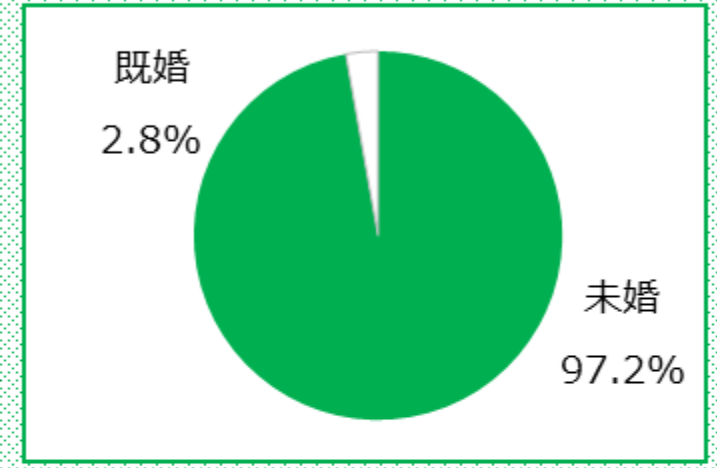
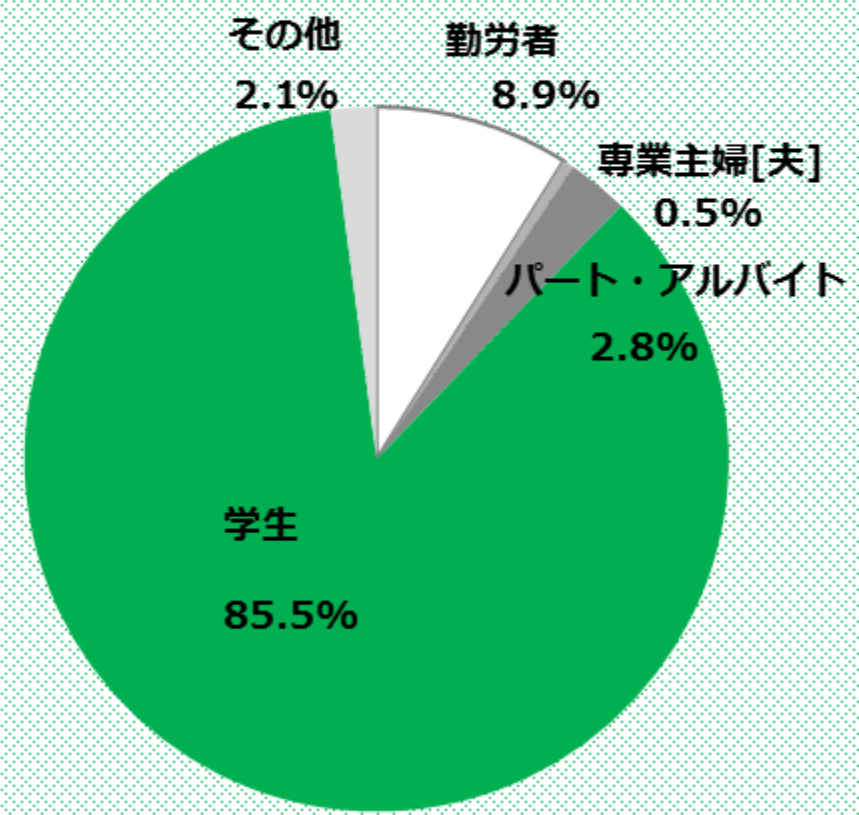
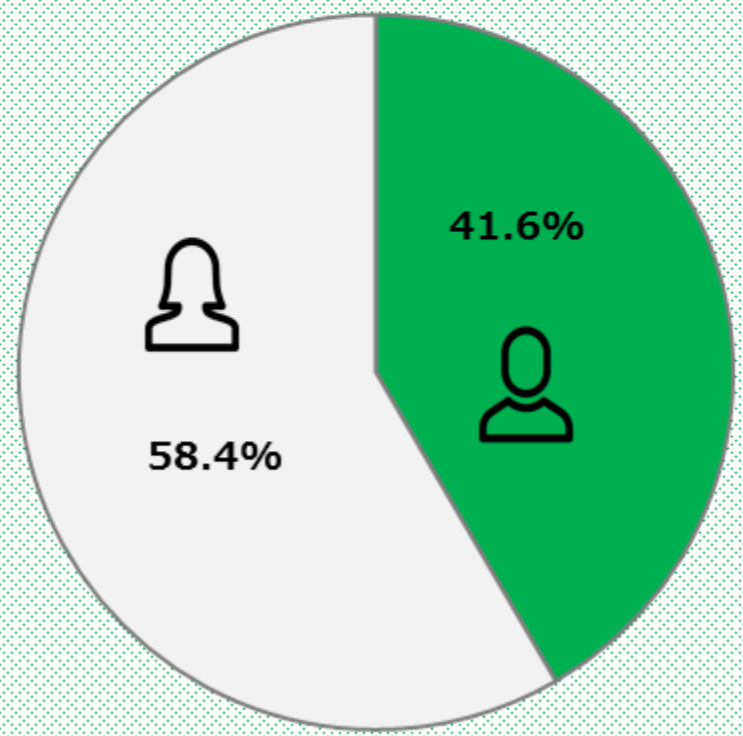


2016年11月9日～2016年11月16日

# 結果概要 属性



有効回答数：786（回収数：862）



## 若者の本音

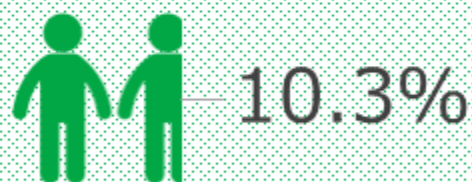
お酒やたばこの解禁、選挙権が得られることが「成年」のイメージ、  
成年になりたいと答えた人は約60%

成年になりたいですか？ (N=786)

はい



いいえ



どちらともいえない



成年と聞いて何を思い浮かべますか？

(N=786 複数回答)

お酒がのめる  80.4%

たばこが吸える  53.2%

選挙権が持てる  41.0%

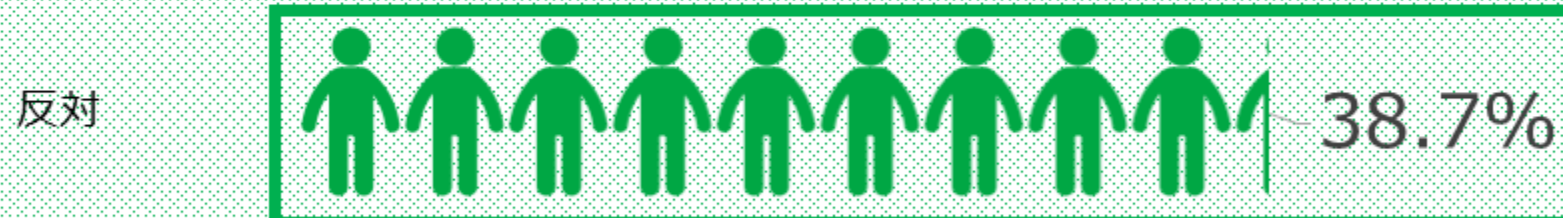
## 成年年齢引下げについて

議論の内容を理解すると引下げに反対する傾向

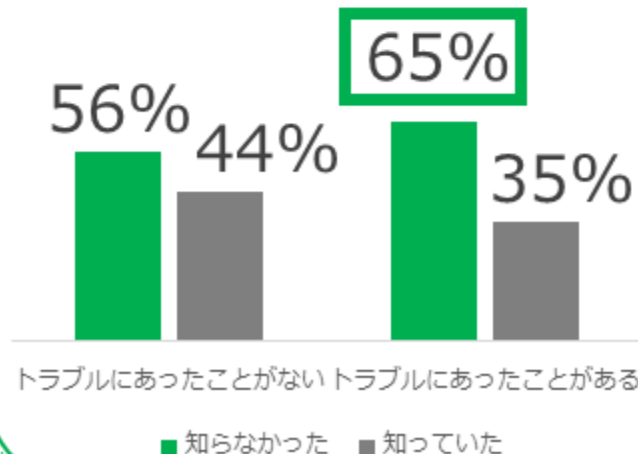
しかしながら、

消費者トラブルの経験は引下げの議論に対する興味関心にはつながらない

成年年齢引下げに賛成ですか？ (N=786)



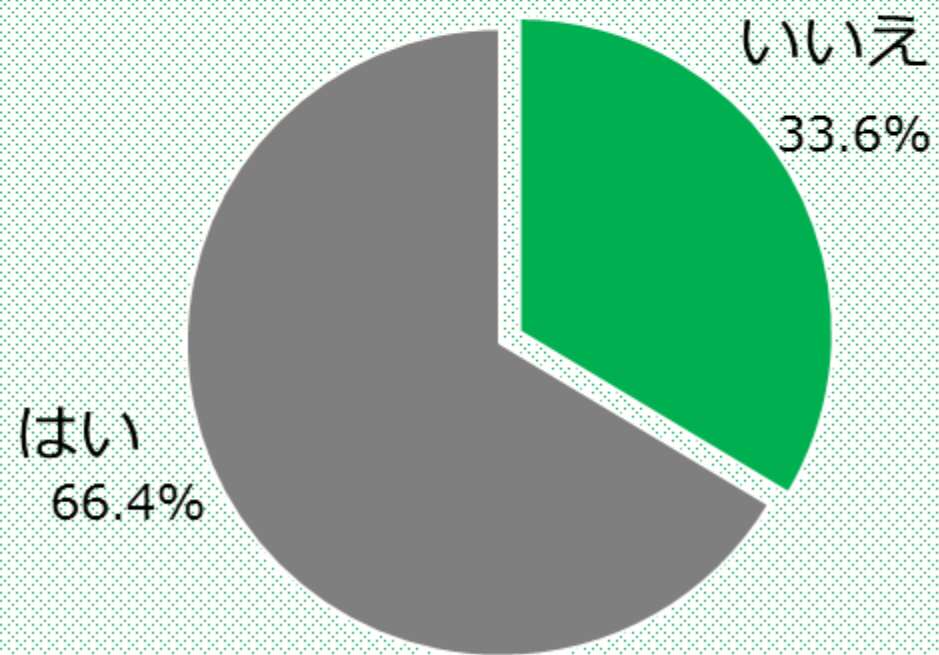
成年年齢引下げの議論を知っていましたか？ (N=786)



## 若者の実態


消費者教育を受けてきた世代は、教育の効果や情報の重要性を認識している

今後、消費者トラブルにあらうリスクがあると思いますか？（N=786）



若年層が消費者被害にあう原因は何だと思えますか？

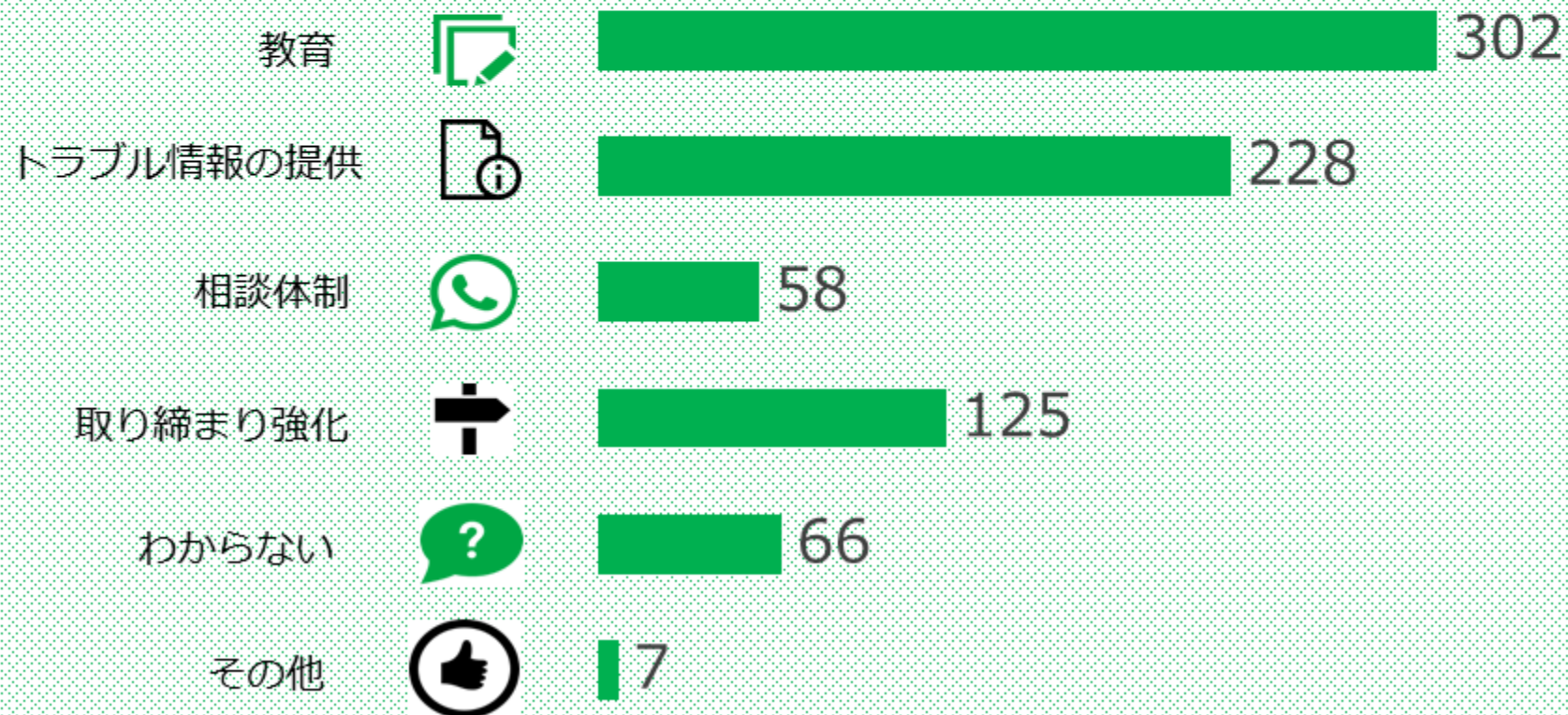
知識が足りない  47.2%

情報が足りない  29.4%

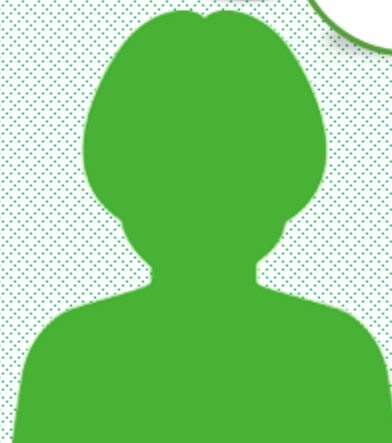
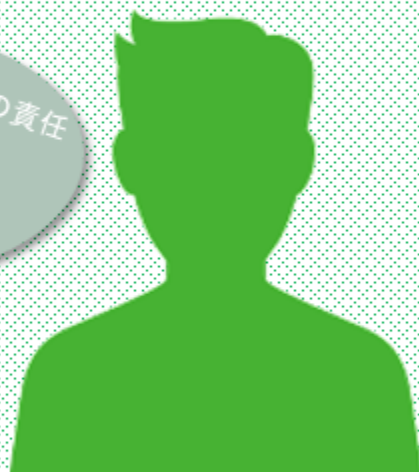
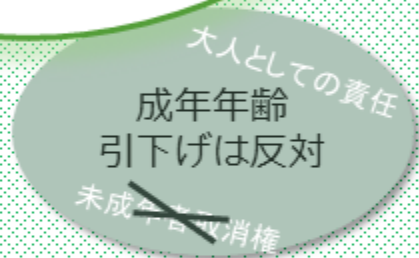
## 若者が求める施策

関心の薄い若者への教育や情報提供などのアプローチを継続し、さらに認知を進めていくことが求められる

若年層の消費者被害を減らすために、どのような方法が効果的だと思いますか？ (N=786)



## 18・19歳の本音 大人として認められたい！ でも成年になることには消極的



お酒やたばこの解禁、選挙権が得られることが「成年」のイメージ、成年になりたいと答えた人は約60%  
議論の内容を理解すると引下げに反対する傾向しかしながら、消費者トラブルの経験は引下げの議論に対する  
興味関心にはつながらない

関心の薄い若者への教育や情報提供などのアプローチを継続し、さらに認知を進めていくことが求められる  
消費者教育を受けてきた世代は、教育の効果や情報の重要性を認識している





消費者のみらいを考える会

<http://www.consumer-mirai.org/>